図書だより

県立加古川南高等学校図書館
2026年11月号

秋も深まり、過ごしやすい季節となりました。じっくりと本に親しむには絶好の季節です。
図書室では今月も新しいコーナーを設置する予定です。ぜひ、図書館に来てお気に入りの一冊をみつけてください。

読書週間です

本は、私たちを遠い国や知らない世界へ連れて行ってくれたり経験したことのない人生や感情に出会わせてくれます。ぜひ、みなさんもたくさん味わってください。

本棚から

・『朝日キーワード 2027』朝日新聞出版 編
高市政権、トランプ政権、イスラエル・ハマスの衝突、気候変動など、テーマは政治、経済、国際から医療・福祉、環境・国土、労働、文化、スポーツ…とあらゆる分野について解説されています。
就活、資格試験、入試小論文対策に役立つ、創刊43年の現代用語事典。

・『生成 AI の国語力』 齋藤孝 著
世は大「生成 AI」時代。社会で生きていく上では AI とは無縁でいられない。
適切に使いこなす秘訣は``国語力``にあった ――― 。AI に使われずに AI を使いこなす。そのために必要な「言葉の力」とは？

・『移民1000万人時代 2040 年の日本の姿』 毛受敏浩 著
人口の10人に１人が外国人に ――― 。日本にとって脅威か、福音か。
1年間の出生者数が70万人を下回り、``人口減少``の加速期に突入した日本。さらに、高齢化と人手不足がセットで進行する。移民問題の第一人者が、誰も語らなかったこの国の未来像を解き明かす。

・『クスノキの番人』 東野圭吾 著
不思議な力を持つと言われているクスノキの番人を任された青年。そのクスノキと番人の元へ訪れる人々が織りなす心温まる物語。東野圭吾原作2026年1月 初のアニメーション映画化。

・『新版 災害時、リアルに役立つ！助かるマニュアル』 著
大地震・台風などの天災から、熊被害・リチウムイオン電池火災など近年増加中の災害まで。いざというときにとるべき行動がわかる。

期間限定コーナーの紹介

2年次生の特設コーナーを期間限定で設置します。
展示期間 令和8年11月16日(月)～20日(金)
POP アンケートを行いますので、ぜひみなさん足を運んでください。

読書感想文作品が播磨東地区で入選しました！

入選作品は、兵庫県コンクールへ出品されます。

2年6組 小谷 百楓 題名「平和のうぶごえ」
(課題図書)

書名 『平和のうぶごえ「原爆の子」として生きた 80 年』
著者名 早志百合子
出版社 毎日新聞出版

入選の感想
昨年に引き続き、2度目の入選をいただくことができ、とても嬉しく思います。今回は『平和のうぶごえ』を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さについて深く考えることができました。
自分の伝えたかった思いが評価されたことを励みに、これからも読書を通して多くのことを学んでいきたいです。

2年次生の朝の読書の様子

朝の SHR の時間に、集団読書テキストを読んでいます。

がんばれ

継続は力なり。読書の習慣がない人も読書が苦手な人も、ぜひ読書を続けてほしいです。

ビブリオトーク大会を開催します

11月18日(水)放課後に、**ビブリオトーク大会**を行います。

この大会は、参加者全員でおすすめの本の魅力を紹介し合う催しです。
参加者は、9月からこの大会に向けて練習を重ねてきました。
この大会が新しい発見や本との出会いに繋がり、楽しい時間になればと思います。